

LM・米国・ ラージ・キャップ・ グロース・ファンド 愛称：アメリカンパワー

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 なお、株式等に直接投資する場合があります。
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎年7月22日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

運用報告書（全体版）

第13期 決算日 2019年7月22日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド」は、2019年7月22日に第13期の決算を行いましたので、期中の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率	純資 産額
		税込 分配 金	騰落 中率				
9期(2015年7月22日)	円 22,484	円 0	% 41.3	% 97.7	% —	% —	百万円 276
10期(2016年7月22日)	19,779	0	△12.0	93.9	—	—	251
11期(2017年7月24日)	24,051	0	21.6	97.4	—	—	255
12期(2018年7月23日)	29,076	0	20.9	93.9	—	1.5	157
13期(2019年7月22日)	30,545	0	5.1	93.8	—	1.9	270

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組 入比率	株先 物比率	投資信託 組入比率
		騰落 率	騰落 率			
(期首) 2018年7月23日	円 29,076	% —	% —	% 93.9	% —	% 1.5
7月末	28,682	△1.4	93.2	—	1.5	
8月末	29,849	2.7	95.1	—	1.5	
9月末	30,414	4.6	91.5	—	1.5	
10月末	27,508	△5.4	95.9	—	1.7	
11月末	28,387	△2.4	91.4	—	1.6	
12月末	25,428	△12.5	88.0	—	1.5	
2019年1月末	27,020	△7.1	95.0	—	1.6	
2月末	28,824	△0.9	93.5	—	1.6	
3月末	29,167	0.3	93.6	—	1.7	
4月末	31,246	7.5	90.3	—	1.6	
5月末	28,914	△0.6	93.4	—	1.9	
6月末	29,829	2.6	95.2	—	1.9	
(期末) 2019年7月22日	30,545	5.1	93.8	—	1.9	

(注) 騰落率は期首比です。

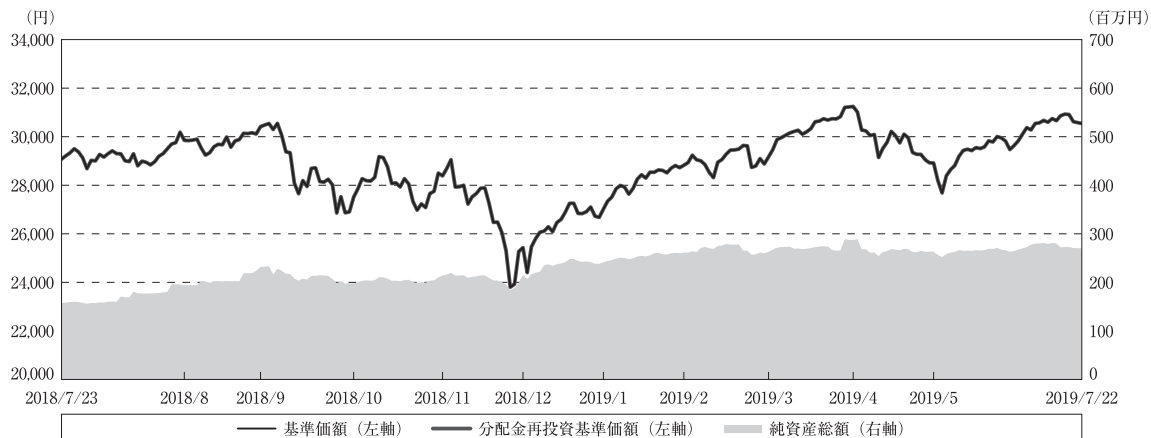
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年7月24日～2019年7月22日)



期 首：29,076円

期 末：30,545円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率： 5.1%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年7月23日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

米国株式相場の上昇を背景に株式要因が大きくプラスに寄与しました。為替要因については、米ドル安・円高を受けてマイナスとなりました。

① 米国株式市場の動向

当期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、北米自由貿易協定 (NAFTA) 再交渉で米国とメキシコが大筋合意し、貿易摩擦に対する過度の懸念が後退したことなどから、株価は上昇しました。しかしその後は、米国国債利回りの急速な上昇が嫌気され、株価は大きく下落しました。

期の半ばは、原油価格が下落基調となる中、世界景気の先行き不透明感が浮上したことから、売り圧力が強まりました。しかしその後は、米連邦準備制度理事会 (FRB) が当面、利上げを見送るとの見方が強まったことから、株価は上昇しました。

期の後半は、トランプ米大統領が対中関税の引き上げを表明し、米中の貿易協議の先行きに警戒感が広がったことから、株価は下落する場面が見られました。しかしその後は、FRBによる利下げ観測が強まったことなどから、株価は再び上昇しました。

米国S&P500指数の推移



② 為替市場の動向

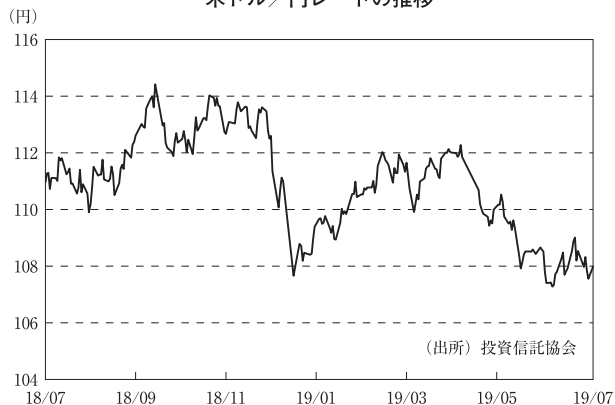
当期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。

期の前半は、日銀による金融緩和策修正の思惑が浮上し、米ドル売り・円買いが優勢となる場面が見られましたが、その後はFRBによる利上げ継続が意識されたことや、米国国債利回りの上昇を受けて日米金利差が拡大したことなどから、米ドル買い・円売りが強まりました。

期の半ばは、株式相場の急落を受けてリスク回避姿勢が強まったことから、米ドル売り・円買いが強まりました。しかしその後は、米中貿易交渉の進展期待等を背景に米国株式相場が上昇し、リスク回避姿勢が和らいだことなどから、米ドルは対円で上昇に転じました。

期の後半は、米中の貿易摩擦が激化することへの懸念から米国株式相場が下落し、リスク回避に伴う円買いが優勢となったことから、米ドルは対円で下落しました。その後も、FRBが早期に利下げに転じるとの観測が広がったことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。

米ドル／円レートの推移



当ファンドは、主に「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期の運用においては、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

分配金

(2018年7月24日～2019年7月22日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第13期
	2018年7月24日～ 2019年7月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	20,544

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、米国企業の大型成長株を中心に投資を行うファンドです。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年7月24日～2019年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 511	% 1.777	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(263)	(0.915)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(232)	(0.808)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(15)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.015	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.015)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	305	1.060	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(281)	(0.977)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(13)	(0.043)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(9)	(0.033)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
（ そ の 他 ）	(2)	(0.006)	権利配当処理に伴う費用
合 計	820	2.853	
期中の平均基準価額は、28,772円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

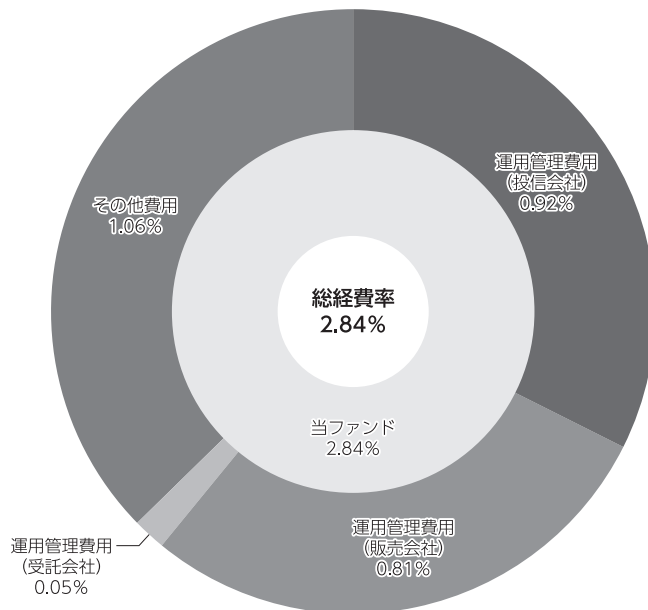
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.84%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年7月24日～2019年7月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千口 66,571	千円 238,748	千口 39,965	千円 147,261

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2018年7月24日～2019年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額		276,316千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額		216,319千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)		1.28

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年7月24日～2019年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2018年7月24日～2019年7月22日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年7月24日～2019年7月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年7月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千口 44,329	千口 70,935	千円 272,569

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2019年7月22日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド	千円 272,569	% 100.0
コール・ローン等、その他	2	0.0
投資信託財産総額	272,571	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（268,022千円）の投資信託財産総額（272,771千円）に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月22日における邦貨換算レートは、1米ドル=107.98円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	272,571,925
LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド(詳価額)	272,569,850
未収入金	2,075
(B) 負債	2,404,110
未払解約金	2,075
未払信託報酬	2,337,304
その他未払費用	64,731
(C) 純資産総額(A－B)	270,167,815
元本	88,449,064
次期繰越損益金	181,718,751
(D) 受益権総口数	88,449,064口
1万口当たり基準価額(C/D)	30,545円

<注記事項>

元本の状況	
期首元本額	54,110,876円
期中追加設定元本額	82,869,005円
期中一部解約元本額	48,530,817円

○損益の状況 (2018年7月24日～2019年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	18,606,185
売買益	25,579,848
売買損	△ 6,973,663
(B) 信託報酬等	△ 4,270,078
(C) 当期損益金(A+B)	14,336,107
(D) 前期繰越損益金	28,597,472
(E) 追加信託差損益金	138,785,172
(配当等相当額)	(130,662,795)
(売買損益相当額)	(8,122,377)
(F) 計(C+D+E)	181,718,751
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	181,718,751
追加信託差損益金	138,785,172
(配当等相当額)	(130,922,125)
(売買損益相当額)	(7,863,047)
分配準備積立金	42,933,579

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の45相当額を支払っております。

(注) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,705,881円)、費用控除後の有価証券等損益額(11,630,226円)、信託約款に規定する収益調整金(138,785,172円)および分配準備積立金(28,597,472円)より分配対象収益は181,718,751円(10,000口当たり20,544円)ですが、当期に分配した金額はありません。

LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド

運用状況のご報告

第13期 決算日 2019年7月22日

(計算期間：2018年7月24日～2019年7月22日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・マザーファンド」の第13期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	主として魅力的な成長が見込めると判断する大型の米国企業を中心に投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。
主 要 運 用 対 象	主として米国に所在する企業の発行する株式を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率	純資産額
	円	騰落率				
9期(2015年7月22日)	26,343	43.7	96.9	—	—	百万円 278
10期(2016年7月22日)	23,619	△10.3	93.1	—	—	254
11期(2017年7月24日)	29,217	23.7	96.5	—	—	258
12期(2018年7月23日)	35,913	22.9	92.8	—	1.5	159
13期(2019年7月22日)	38,425	7.0	93.0	—	1.9	272

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率
	円	騰落率			
(期首) 2018年7月23日	35,913	—	92.8	—	1.5
7月末	35,441	△1.3	93.2	—	1.5
8月末	36,938	2.9	94.9	—	1.5
9月末	37,688	4.9	91.2	—	1.5
10月末	34,156	△4.9	95.4	—	1.7
11月末	35,294	△1.7	90.8	—	1.6
12月末	31,683	△11.8	87.3	—	1.5
2019年1月末	33,710	△6.1	95.0	—	1.6
2月末	36,009	0.3	93.3	—	1.6
3月末	36,490	1.6	93.3	—	1.7
4月末	39,136	9.0	89.9	—	1.6
5月末	36,294	1.1	92.8	—	1.9
6月末	37,486	4.4	94.5	—	1.9
(期末) 2019年7月22日	38,425	7.0	93.0	—	1.9

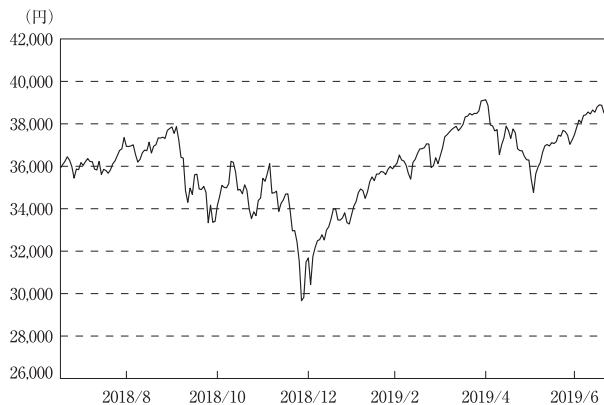
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年7月24日～2019年7月22日)



○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。

米国株式相場の上昇を背景に株式要因が大きくプラスに寄与しました。為替要因については、米ドル安・円高を受けてマイナスとなりました。

① 米国株式市場の動向

当期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、北米自由貿易協定 (NAFTA) 再交渉で米国とメキシコが大筋合意し、貿易摩擦に対する過度の懸念が後退したことなどから、株価は上昇しました。しかしその後は、米国国債利回りの急速な上昇が嫌気され、株価は大きく下落しました。

期の半ばは、原油価格が下落基調となる中、世界景気の先行き不透明感が浮上したことから、売り圧力が強まりました。しかしその後は、米連邦準備制度理事会 (FRB) が当面、利上げを見送るとの見方が強まったことから、株価は上昇しました。

期の後半は、トランプ米大統領が対中関税の引き上げを表明し、米中の貿易協議の先行きに警戒感が広がったことから、株価は下落する場面が見られました。しかしその後は、FRBによる利下げ観測が強まったことなどから、株価は再び上昇しました。

米国S&P500指数の推移



② 為替市場の動向

当期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。

期の前半は、日銀による金融緩和策修正の思惑が浮上し、米ドル売り・円買いが優勢となる場面が見られましたが、その後はFRBによる利上げ継続が意識されたことや、米国国債利回りの上昇を受けて日米金利差が拡大したことなどから、米ドル買い・円売りが強まりました。

期の半ばは、株式相場の急落を受けてリスク回避姿勢が強まったことから、米ドル売り・円買いが強まりました。しかしその後は、米中貿易交渉の進展期待等を背景に米国株式相場が上昇し、リスク回避姿勢が和らいだことなどから、米ドルは対円で上昇に転じました。

期の後半は、米中の貿易摩擦が激化することへの懸念から米国株式相場が下落し、リスク回避に伴う円買いが優勢となったことから、米ドルは対円で下落しました。その後も、FRBが早期に利下げに転じるとの観測が広がったことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。

米ドル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主に個別企業の徹底したファンダメンタル分析に基づき、魅力的な成長が見込める米国の大型成長株を中心に銘柄数を絞り込んで投資することにより、元本の長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期の運用においては、大型の米国企業の発行する株式を中心に投資を行い、経営能力が高く、長期にわたり競争力上の優位を維持できると期待される成長企業を発掘することにより、ポートフォリオの構築を行いました。

○今後の運用方針

当ファンドは、米国企業の大型成長株を中心に投資を行うファンドです。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年7月24日～2019年7月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 5 (5) (0)	% 0.015 (0.015) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	361 (349) (10) (2)	1.007 (0.974) (0.027) (0.006)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 権利配当処理に伴う費用
合 計	366	1.023	
期中の平均基準価額は、35,860円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年7月24日～2019年7月22日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 148 (0.66)	千米ドル 1,629 (-)	百株 80	千米ドル 860

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘	柄	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	百口	千米ドル	百口	千米ドル
	EQUINIX INC	0.56	22	0.10	4
	小 計	0.56	22	0.10	4

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○株式売買比率

(2018年7月24日～2019年7月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	276,316千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	216,319千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.28

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年7月24日～2019年7月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年7月22日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	1	2	74	8,018	情報技術
ADVANCE AUTO PARTS	—	2	37	4,083	一般消費財・サービス
AKAMAI TECHNOLOGIES	4	6	51	5,541	情報技術
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	1	3	39	4,291	ヘルスケア
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	—	2	42	4,576	一般消費財・サービス
ALPHABET INC-CL C	0.39	0.61	68	7,443	コミュニケーション・サービス
ALPHABET INC-CL A	0.27	0.24	27	2,932	コミュニケーション・サービス
AMAZON.COM INC	0.5	0.83	163	17,606	一般消費財・サービス
AMERICAN EXPRESS CO	2	3	42	4,569	金融
ANHEUSER-BUSCH INBEV SPN ADR	2	5	48	5,263	生活必需品
APPLE INC	1	2	52	5,622	情報技術
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	1	3	25	2,783	ヘルスケア
BIOGEN INC	0.87	—	—	—	ヘルスケア
BLACKROCK INC	0.52	0.84	39	4,292	金融
C. H. ROBINSON WORLDWIDE INC	—	1	15	1,625	資本財・サービス
CATERPILLAR INC	1	2	27	3,015	資本財・サービス
CELGENE CORP	3	—	—	—	ヘルスケア
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	0.3	0.51	38	4,111	一般消費財・サービス
COCA-COLA COMPANY	3	6	31	3,379	生活必需品
COMCAST CORP-CLASS A	7	11	49	5,361	コミュニケーション・サービス
COSTCO WHOLESALE CORP	1	1	45	4,954	生活必需品
DENTSPLY SIRONA INC	3	—	—	—	ヘルスケア
THE WALT DISNEY CO.	2	4	66	7,233	コミュニケーション・サービス
ECOLAB INC	1	2	47	5,155	素材
FACEBOOK INC-A	2	6	134	14,564	コミュニケーション・サービス
WW GRAINGER INC	0.89	1	43	4,732	資本財・サービス
GRUBHUB INC	—	3	25	2,782	一般消費財・サービス
HOME DEPOT INC	1	2	48	5,198	一般消費財・サービス
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	1	2	51	5,585	資本財・サービス
JOHNSON & JOHNSON	1	3	39	4,249	ヘルスケア
MCCORMICK & CO-NON VTG SHRS	1	1	25	2,794	生活必需品
MICROSOFT CORP	5	8	117	12,686	情報技術
NUTANIX INC - A	—	6	17	1,844	情報技術
NVIDIA CORP	—	1	28	3,091	情報技術
ORACLE CORP	6	9	53	5,772	情報技術
PALO ALTO NETWORKS INC	1	1	38	4,199	情報技術
PAYPAL HOLDINGS INC	3	—	—	—	情報技術
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	1	2	28	3,115	エネルギー
PRAXAIR INC	1	—	—	—	素材
QUALCOMM INC	3	5	43	4,656	情報技術
RED HAT INC	2	—	—	—	情報技術
REGENERON PHARMACEUTICALS	0.4	—	—	—	ヘルスケア
SCHLUMBERGER LTD	3	—	—	—	エネルギー
THE CHARLES SCHWAB CORPORATION	4	10	44	4,838	金融
SPLUNK INC	2	2	40	4,385	情報技術
TEXAS INSTRUMENTS INC	2	3	40	4,355	情報技術
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1	1	53	5,758	ヘルスケア
UBER TECHNOLOGIES INC	—	7	30	3,287	資本財・サービス

銘柄	株数	株数	当 期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	1	3	41	4,428	資本財・サービス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	1	3	81	8,812	ヘルスケア	
VISA INC-CLASS A SHARES	3	6	109	11,864	情報技術	
VMWARE INC-CLASS A	1	1	30	3,295	情報技術	
YUM CHINA HOLDINGS INC	5	—	—	—	一般消費財・サービス	
ZOETIS INC	3	5	59	6,381	ヘルスケア	
LINDE PLC	—	2	41	4,523	素材	
IHS MARKIT LTD	—	6	41	4,467	資本財・サービス	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	107	176	2,347	253,536	
		47	47	—	93.0%	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

(注) —は組入れなし。

外国投資信託証券

銘柄	口数	口数	当 期 末		比 率	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百口	百口	千米ドル	千円	%	
EQUINIX INC	0.5	0.96	48	5,251	1.9	
合 計	口 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	0.5	0.96	48	5,251	
		1	1	—	<1.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。ただし、口数が単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 253,536	% 93.0
投資証券	5,251	1.9
コール・ローン等、その他	13,984	5.1
投資信託財産総額	272,771	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(268,022千円)の投資信託財産総額(272,771千円)に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月22日における邦貨換算レートは、1米ドル=107.98円です。

○特定資産の価格等の調査

(2018年7月24日～2019年7月22日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年7月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	272,771,117
コール・ローン等	13,678,194
株式(評価額)	253,536,065
投資証券(評価額)	5,251,559
未収入金	168,027
未収配当金	137,272
(B) 負債	204,637
未払金	202,550
未払解約金	2,075
未払利息	12
(C) 純資産総額(A-B)	272,566,480
元本	70,935,550
次期繰越損益金	201,630,930
(D) 受益権総口数	70,935,550口
1万口当たり基準価額(C/D)	38,425円

<注記事項>

(注) 元本の状況

 期首元本額 44,329,867円

 期中追加設定元本額 66,571,272円

 期中一部解約元本額 39,965,589円

(注) 期末における元本の内訳

 LM・米国・ラージ・キャップ・グロース・ファンド 70,935,550円

○損益の状況 (2018年7月24日～2019年7月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,457,133
受取配当金	2,495,713
受取利息	132,209
その他収益金	834,294
支払利息	△ 5,083
(B) 有価証券売買損益	20,709,936
売買益	37,724,454
売買損	△ 17,014,518
(C) 保管費用等	△ 2,287,708
(D) 当期損益金(A+B+C)	21,879,361
(E) 前期繰越損益金	114,871,098
(F) 追加信託差損益金	172,176,874
(G) 解約差損益金	△107,296,403
(H) 計(D+E+F+G)	201,630,930
次期繰越損益金(H)	201,630,930

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。